

時效硬化性熱間加工可能のニッケル合金 No. 2,213,198 出未詳 許 1940. 9. 3

International Nickel Co., Inc. (發明者 Clarence G. Bieber & Mortimer P. Buck)

[特徴] Ni 95% 以上, C 0.15~0.5%, Mg 0.2~0.45%, Ti 1% 以下. 約 1,600~2,150°F の溫度域に於て良好なる熱間可鍛性を有し, 且約 1,950~2,000°F より急冷後約 850~950°F にて熱處理する事によりブリネル約 250 以上の硬度迄時効硬化し得.

金屬切断工具其他に適する遠心鑄造合金 No. 2,213,207 出未詳 許 1940. 9. 3

Anthony G. De Golyer

[特徴] W, Mo 又は U 5~30; B 0.25~5; Zr 又は Ti 0.25~7; Cr 1~25; Fe 5~40%; Co 及不純分 (C<0.3%) 殘餘. 本合金を遠心鑄造すれば, 比較的微細にして一様の結晶粒を持つ組織を得, 且熱處理を施して析出硬化を行ひ得. 米國特許 2,213,208 號は Zr 及 Ti を缺く同種合金に言及す.

アルミニウム及其合金のペンキ塗前被覆法 No. 2,213,263 出未詳 許 1940. 9. 3

Patents Corp. (發明者 John S. Thompson & Herbert K. Ward)

[特徴] Al 又は Al 合金の表面上にペンキ保持性被覆層が見え得るに至る迄, 該表面を H_2SiF_6 又はその可溶性鹽類の一を以て處理す.

熔接電極棒 No. 2,213,390 出未詳 許 1940. 9. 3

Chicago Hardware Foundry Co. (發明者 Raymond L. Franklin)

[特徴] 黒鉛炭素を含む鐵を主成分とする芯棒と, C 10~40, Si 10~50, 熔渣形成材 (例へば $CaCO_3$ の如き酸素含有金屬化合物) 10~60%, 及珪酸ソーダの如き結合劑より成る被覆材とを備ふ. 本電極棒は電弧熔接に際して熔融して鼠鑄鐵を生じ, 該鑄鐵はセメントタイトを含まず且切削され易し.

電氣接點用合金 No. 2,213,397 出未詳 許 1940. 9. 3

Bell Telephone Laboratories, Inc. (發明者 Edwin F. Kingsbury 及 Howard T. Reeve)

[特徴] Pd 50.7~62.7; Cu 49.3~37.3% より成る繼電器用接點合金. 之を 275~450°C 間の一溫度迄加熱すれば異質性より均質性に轉換す. 之を該溫度にて 15~30 mn 保持して, その轉換を完成し, 次に冷却す.

合金軸受を耐蝕性となす潤滑法 No. 2,213,856 出未詳 許 1940. 9. 3

Tide Water Associated Oil Co. (發明者 Elmer W. Cook)

[特徴] Cd-Ag, Cd-Ni 及 Cu-Pb 合金其他の腐蝕し得べき合金を, 少くもその一接觸面とする軸受表面の潤滑法にして, 該表面上に充分油溶性なる亞砒酸アルキル (tri-Bu-or tri-Am arsenite 約 0.2% 以下を可とす) を含む潤滑劑を付與す.

雜

報

大東亞戰爭日記摘要

4月10日(金) 印度の國民會議派運用委員會, クリップスの對印提案を否決する決議文を採擇. クリップスに提出す.

4月13日(月) 午後3時50分發表

4月5日以來印度洋に作戰中の帝國海軍部隊の戦況並に綜合戦果を次の如く發表.

(1) コロンボ方面=4月5日コロンボを急襲し, スピットファイヤー, ハリケーン, スピードフィッシュ, デファイアント等敵57機を撃墜, 港内敵船16隻を撃破すると共に飛行機格納庫三棟, 修理工場等を大破炎上せしめたり.

(2) コロンボ方面洋上=4月5日セイロン島南方三百數十哩の洋上に於て高速遊退中の英甲巡ロンドン型1隻及びコンウォール型1隻を發見, 機を失せず航空部隊を以て攻撃し忽ち兩艦とも撃沈せり.

(3) ベンガル灣方面=4月5日ベンガル灣に進攻せる部隊は同方面航行中の英國船21隻約140,000噸を撃沈, 7隻約40,000噸を大破せり.

(4) ツリンコマリ方面=4月9日ツリンコマリを強襲しハリケーン, プレナム, スーパーマリン等41機を撃墜, 4機を地上炎上し更に英乙巡リアンダー型1隻を大破, 敵船大型2隻, 小型1隻を撃沈, 海軍工廠, 大型飛行機格納庫二棟, 火藥庫, 兵舎, 油槽群等を爆破し, 特にその飛行場施設を潰滅せり.

(5) ツリンコマリ方面洋上=4月9日ツリンコマリ東南方洋上を南下中の敵航空母艦ハームス並に驅逐艦1隻を發見, 航空部隊を以て直にこれを攻撃せし, 乃ほ附近航行中の敵船4隻を撃沈し敵スピットファイヤー, プレナム等15機をも撃墜せり.

(6) その他=本作戰中帝國潜水艦は敵船7隻を撃沈, 1隻を大破せり. 又右作戰中, コロンボ及びツリンコマリ方面に於て我方17機を失へるほか艦艇には微塵の損傷なし.

[參考] 海軍艦艇の類別

- イ. 甲巡は口径15.5吋以上の備砲を有するもの
乙巡は口径15.5吋以下の備砲を有するもの
ロ. 軍艦=戦艦・航空母艦・巡洋艦(甲級・乙級)・水上機母艦
敷設艦・海防艦・砲艦. ……總て軍艦「何々」と呼ぶ.

- 驅逐艦=一等驅逐艦(排水量1,000噸以上)
二等驅逐艦(排水量1,000噸以下)
總て驅逐艦「何々」と呼ぶ.
潜水艦=一等潜水艦(排水量1,000噸以上)
(伊號第...號潜水艦)
二等潜水艦(同上500噸~1,000噸)
(呂號第...號潜水艦)
三等潜水艦(同上500噸以下)
水雷艇
掃海艇
特務艦=練習特務艦, 工作艦, 標的艦, 測量艦, 運送艦
(給炭・給油・給糧), 碎氷艦

4月18日(土) 午後0時30分頃敵機數方向より京濱地方に來襲, 次で名古屋, 神戸, 和歌山縣下をも空襲せり. 我空陸兩部隊の反撃を受け逐次退散せり. 我が損害輕微但防空の實際經驗を得て大に意氣揚る.

5月1日(金) 北部ビルマに於ける重慶, 英印聯合軍の最大據點マンダレーは果敢なる皇軍の猛攻に耐へず1日午後6時25分遂に陥落し. 援蔣ルート全く斷たる.

5月7日(木) 午後5時50分發表
比島方面帝國陸海軍部隊は5月5日午後11時15分コレヒドール島要塞に對する強行上陸に成功, 5月7日午前8時同島及びその他マラ灣口諸島の全要塞を完全に攻略せり.

5月8日(金) 午後5時20分發表
ニューギニア島方面に作戰中の帝國海軍部隊は5月6日同島南東方珊瑚海に米英聯合の敵有力部隊を發見捕捉し, 同7日これに攻撃を加へ米戦艦カリフォルニア型1隻を轟沈, 英甲巡キャンベラ型1隻を大破し, 英戦艦ウォズパイト型1隻に大損害を與へ, 更に本8日米空母サラトガ型1隻及びビョークタウン型1隻を撃沈し目下尙攻撃續行中なり.

5月9日(土) 午後3時40分發表
珊瑚海方面に於て攻撃續行中の帝國海軍部隊は更に巡洋艦1隻に對し雷撃機の體當りを以てこれに大損害を與へ, 又驅逐艦1隻を撃沈せり, 一方7日以來彼我上空に於て敵機89機を撃墜せり, この間我方小型航空母艦2隻沈没, 飛行機31機未だ歸還せず.